

令和8年度 シラバス

教科	国語	科目	言語文化	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	新編 言語文化 改訂版（大修館書店）					
学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
評価の観点	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度			
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。			
評価の方法	上記3つの観点について、授業への出席状況、授業中の態度、課題等の提出状況、発表の仕方や内容、定期考査等から総合的に評価を行う。					
	単元		主な学習内容			
前期	ことばと出会う 表現を味わう 文化を見つめる 古文に親しむ 随筆を楽しむ 漢文に親しむ 現代に生きることば		「言葉の森を育てよう」 「言葉と愛」 「水かまきり」 「とんかつ」 「漢字と仮名の使い分け」 「アナログ的な日本の四季」 「古文への招待」 「宇治拾遺物語」 「今昔物語集」 「徒然草」 「枕草子」 「漢文入門」「訓読のきまり」 「格言」「再読文字」 「守株」 「五十歩百歩」 「蛇足」 「借虎威」			
後期	物語を受け継ぐことばと多様性 近代文学に触れる 物語の広がり 旅への思い 古人に学ぶ漢文を楽しむ		「羅生門」 「祖母が笑うということ」 「ことばは光」 「夢十夜」 「形」 「伊勢物語」 「平家物語」 「土佐日記」 「更級日記」 「おくのほそ道」 「論語」 「完璧」 「鶏鳴狗盗」 「人面桃花」			